

大分県

OITA Prefecture

2026

🔥目次

- 1 大分県のすがた
- 2 大分県の経済・産業
- 3 大分県庁の組織と業務
- 4 安心・元気・未来創造ビジョン2024
- 5 大分県行財政改革推進計画2024
- 6 令和8度大分県予算
- 7 令和8年度の主な取組
- 8 大分県管内図、県のシンボル



日本一の

おんせん県おおいた



みりよく

味力も満載

(1)大分県の位置

大分県は「アジアの玄関口」である九州の北東部に位置し、北側は周防灘に、東側は伊予灘、豊後水道に面しています。



(2)大分県の市町村

大分県は18市町村(14市3町1村)から構成されています(平成の大合併前は58市町村(11市36町11村)でした。)

総人口は約107万人(R8.3.1現在)であり、人口が最も多い市町村は県庁所在地である大分市です。総面積は約6,340km²であり、面積が最も広い市町村は佐伯市です(九州一)。

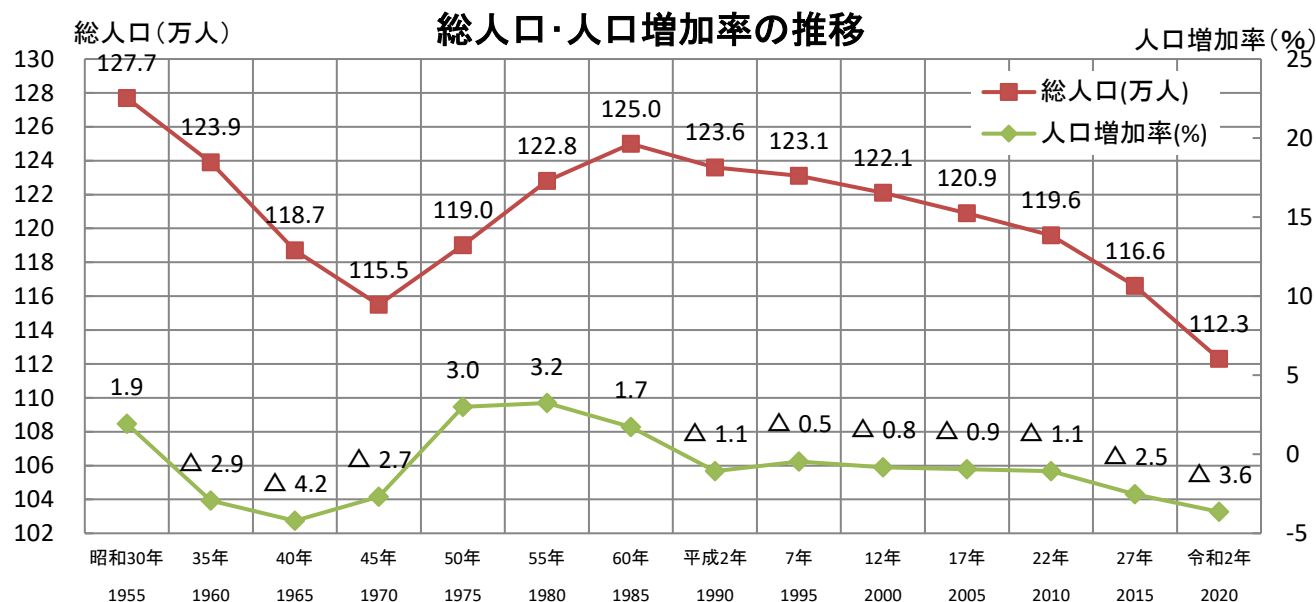
区 分	面 積 R8.1.1 (km ²)	世帯数 R8.3.1 (世帯)	人口 R8.3.1 (人)		
			総数	男	女
大分県	6,340.63 * A	499,444	1,070,137	510,788	559,349
大分市	502.39	219,171	468,080	225,334	242,746
別府市	125.34 * a	55,613	110,915	50,369	60,546
中津市	491.38 * b	39,177	80,321	39,801	40,520
日田市	666.03	25,405	57,640	27,473	30,167
佐伯市	903.14	27,811	60,035	27,968	32,067
臼杵市	291.26	14,322	32,456	15,231	17,225
津久見市	79.48	6,379	13,759	6,485	7,274
竹田市	477.53 * c	8,111	17,615	8,353	9,262
豊後高田市	206.22	9,812	21,152	10,147	11,005
杵築市	280.08	11,698	25,197	12,314	12,883
宇佐市	438.99	21,948	48,691	23,187	25,504
豊後大野市	603.14	13,132	29,956	14,092	15,864
由布市	319.32 * a	14,036	32,192	15,361	16,831
国東市	318.09	11,699	23,528	11,414	12,114
姫島村	6.99	782	1,449	673	776
日出町	73.26	11,534	26,950	12,879	14,071
九重町	271.37 * c	3,261	7,451	3,548	3,903
玖珠町	286.60	5,553	12,750	6,159	6,591

* A 大分県及び福岡県、熊本県は境界の一部が未定のため、参考値である。
 * a 別府市及び由布市は、境界の一部が未定のため、参考値である。
 * b 中津市及び福岡県田川郡添田町は、境界の一部が未定のため、中津市は参考値である。
 * c 竹田市、玖珠郡九重町及び熊本県阿蘇郡小国町は、境界の一部が未定のため、竹田市及び九重町は参考値である。
 ※人口及び世帯数は、大分県毎月流動人口調査による推計値である。

(3)人口の推移

大分県の人口は、昭和30年の127万7千人をピークに減少を続け、昭和45年には115万5千人にまで落ち込みましたが、その後は増勢に転じ、昭和60年には125万人となりました。

しかしながら、昭和60年を境として、東京一極集中や過疎化の進行等により減少傾向が続いており、令和2年には112万3千人となり、昭和40年に次ぐ大きな減少率となりました。



資料:総務省「国勢調査」

(4)人口の将来推計

大分県の人口は、社人研推計によると、2035年は98.4万人で、100万人を割り込む試算が示されています。

そこで、自然増減対策では、2033年までに合計特殊出生率を県民の希望出生率である1.84%まで高めるとともに、社会増減対策では、移住者数や外国人労働者数等を施策の効果により、社人研推計よりも2,000人程度上乗せすることで、2035年に100万人の人口の維持を目指します。



資料:大分県人口ビジョン(令和7年3月改訂)

(5)大分県の特徴

大分県は、温暖な気候に恵まれ、海や山などの豊かな自然、その中で育まれた新鮮で安全な食材、宇佐神宮や六郷満山、国宝臼杵石仏をはじめとした磨崖仏などの貴重な歴史的文化遺産など多くの地域資源があります。

また、なんといっても県内全域に広がる温泉は、日本一の湧出量と源泉数を誇り、10種類ある泉質のうち8種類を有しています。

さらには、「The・おおいた」ブランドとして、関あじ・関さば、おおいた和牛などの高級食材をはじめ、かぼすやしいたけなど四季折々の素晴らしい食材も満載です。



別府湾地域
多彩な温泉と遊びの競演

別府・海地獄

日本一の温泉湧出量、源泉数を誇り、バラエティに富んだ温泉が満喫できる別府をはじめ、別府湾沿いに開けたエリア。海を望む水族館やテーマパークなどのレジャーも充実。



宇佐・国東地域
六郷満山と古の文化

宇佐神宮

かつて宇佐神宮を中心とした八幡文化で栄えた宇佐地域と、「六郷満山」と呼ばれる独自の仏教文化が花開いた国東半島を中心とするエリア。磨崖仏や石橋など石造物も豊富。



日田・耶馬地域
緑薫る歴史と景勝の地

一目八景

江戸幕府の直轄地「天領」として栄え、今も当時の町並みと町人文化が残る日田、城下町の風情が息づく中津など、歴史の薫り漂うエリア。深耶馬溪一帯は奇岩奇峰と瀬流が織りなす景勝地。



やまなみ地域
雄大な山々の営み

くじゅう連山

1700m級の山峰が連なるくじゅう連山をはじめ、祖母・傾山系、由布岳など、雄大な山々に囲まれたエリア。四季折々に色合いを変える大自然の山歩きや高原散策、山間のいで湯を楽しめる癒やしのスポット。



奥豊後地域
名水の潤いと歴史の道白水ダム

白水ダム

清流・大野川の中・上流域に開けたエリアで、豊かな自然が清らかな水を育む名水のふるさと。「九州の小京都」竹田は、岡城趾など、当時の隆盛がしのばれる城下町。



日豊海岸地域
リアス式海岸と海の幸

保戸島

日豊海岸国定公園に指定された美しいリアス式海岸が続く、大分県南エリア。旧藩時代のたたずまいが残る臼杵や佐伯など、海辺の城下町は情緒たっぷり。関あじ・関さばをはじめ、豊後水道で揚がる海の幸が絶品。

(6)大分県の日本一

天然自然が豊かな大分県には様々な日本一があります。特に、七島イの生産は全国で100%のシェアを誇っています。



温泉源泉総数
5,094孔 (R6年度)
温泉湧出量
293千kl/分 (R6年度)



地熱発電設備容量
174千kW (R3年度)



市町村指定有形文化財
(建造物)
759件 (R7年)



道路トンネル数
577本 (R4年度)



かぼす生産量
4,700t (R6年)



乾しいたけ生産量
554t (R6年)



七島イ生産量
6t (R6年)



サフラン(花芯)生産量
9kg (R6年)



マダケ竹材生産量
12.2千束 (R6年)



ホオズキ出荷量
1,181千本
(R5年:切り花のみ)



石灰石生産量
23,767千t (R6年度)



ひらめ養殖生産量
418t (R6年)

(7)大分県の歴史

大分県は、古くは豊の国と呼ばれ、7世紀の終わり頃、豊前・豊後の二国に分けられました。

8世紀には宇佐八幡宮が全国4万社の八幡の総本宮として栄え、また、国東半島には「六郷満山」と呼ばれる独自の仏教文化が花開きました。

13世紀の初め(鎌倉時代)、豊後には大友氏が守護として入国し、以後約400年間統治が続きました。特に、大友宗麟の時代には、豊前を含め北部九州6か国を支配するまでとなりました。大友宗麟は、キリシタン大名としてキリスト教や西洋文化を積極的に取り入れました。府内(現在の大分市)、臼杵には中国船やポルトガル船が入り、「南蛮貿易」が盛んに行われ、国際都市として繁栄しました。

16世紀末、豊臣秀吉によって大友氏が除国されると、領国は極端に細分化されました。その後約300年間、小藩分立の時代が続き、県内各所に城下町文化が花開いたことにより、自主自立の気風を育み、個性豊かな人材を生み出しています。

明治になると、大幅な府県改廃が進められ、豊後国は大分県に、豊前国は小倉県になりました。

その後、県の統廃合が行われ、下毛・宇佐両郡が大分県に編入され、今日の大分県域となりました。

3世紀	宇佐邪馬台国説
720ごろ	「豊後国風土記」成る
731	宇佐八幡宮、官弊社となる 六郷満山文化、国東半島を中心に展開
1551	フランシスコ・ザビエル来訪
1871	廃藩置県により大分県誕生
1876	下毛、宇佐郡を大分県に編入し、現大分県域が確定
1962	県庁舎が現在の場所に建設される
2006	平成の大合併により18市町村となる

(8)大分県の偉人

(近世…安土桃山、江戸時代)

**大友 宗麟**

(戦国武将:1530～1587)

キリスト教を保護・推奨、西洋文化をいち早く取り入れ、ポルトガルと親交を結んだキリシタン大名

**黒田 官兵衛**

(戦国武将:1546～1604)

豊臣秀吉の側近として活躍し、天下統一を支えた天才軍師

**前野 良沢**

(中津藩医:1723～1803)

解剖書「ターヘル・アナトミア」を杉田玄白らと翻訳し、「解体新書」として出版

**田能村 竹田**

(南画家:1777～1835)

詩・書・画一体の独自の風雅の世界を確立し、代表作のいくつかは国の重要文化財に指定

**広瀬 淡窓**

(儒学者、教育者:1782～1856)

近世最大の私塾 咸宜園を創設し、門下三千有余の中から多方面に人材を輩出

ペトロ・カスイ・岐部

(司祭:1587～1639)

エルサレムを経てローマに赴き司祭となるも、帰国後に殉教

麻田 剛立

(天文学者:1734～1799)

ガリレオやニュートンに並び、月のクレターの名前となった

大蔵 永常

(農学者:1768～1860)

九州各地をはじめ、大阪から東北にまで農業技術を学ぶ

(近代…明治以降)

**福沢 諭吉**

(啓蒙思想家:1835～1901)

慶應義塾の創設者であり、「学問のすゝめ」「西洋事情」などを執筆。一万円札の肖像としても有名

**滝 廉太郎**

(作曲家:1879～1903)

明治の中期、音楽界に彗星のように現れ、「荒城の月」「花」など不朽の名曲を残した。23歳で死去

**野上 弥生子**

(小説家:1885～1985)

夏目漱石の指導を受けて小説を書き始め、「海神丸」「秀吉と利休」など多数の作品を発表

**双葉山 定次**

(大相撲力士:1912～1968)

前人未踏の69連勝を誇る第35代横綱。愛称は「不世出の横綱」「相撲の神様」「昭和の角聖」

南 一郎平

(建設事業者:1836～1919)

広瀬井手等の開発や、疎水事業に尽力

矢野 龍溪

(政治家:1850～1931)

福沢諭吉の門下生で、政治小説「経国美談」の著者

久留島 武彦

(童話家:1874～1960)

童謡「夕やけ小やけ」を作詞した「日本のアンデルセン」

堀 悌吉

(軍人:1883～1959)

平和と軍縮を希求した知性派海軍中将

朝倉 文夫

(彫刻家:1883～1964)

「墓守」など数多くの傑作を生み、「自然主義的写実主義」という作風を確立

福田 平八郎

(日本画家:1892～1974)

鮮やかな色彩と大胆な画面構成による独自の装飾的表現を確立

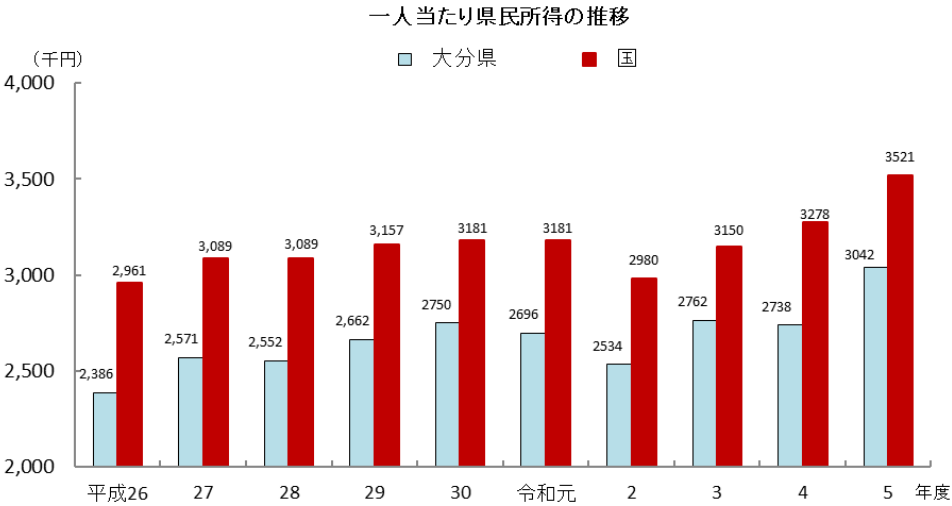
高山 辰雄

(日本画家:1912～2007)

日本画と洋画の壁を取り除く独自の創作を展開

(1) 県民経済

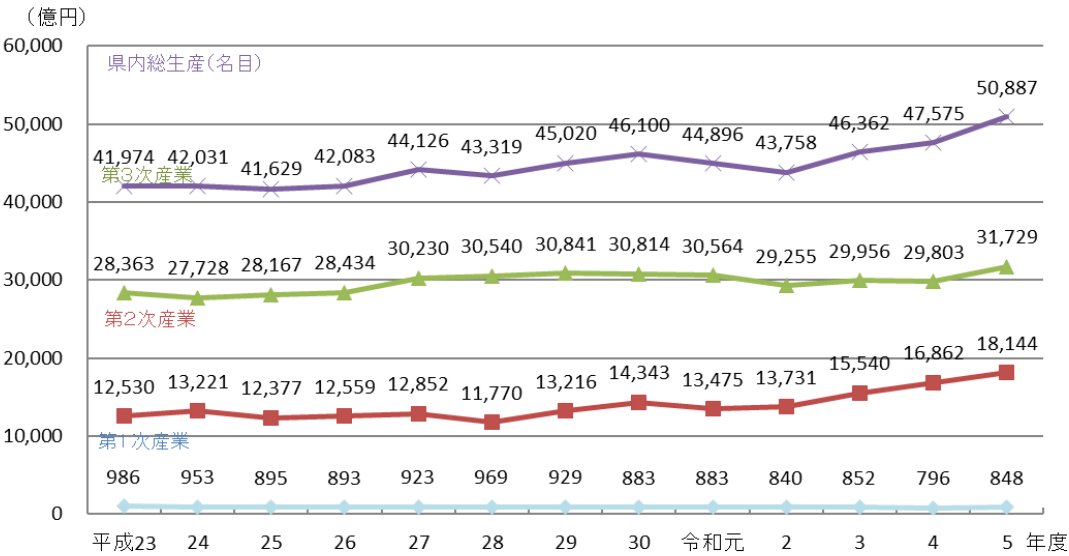
令和5年度の一人当たり県民所得は3,042千円となっています。



資料: 県統計調査課

(2) 産業構造

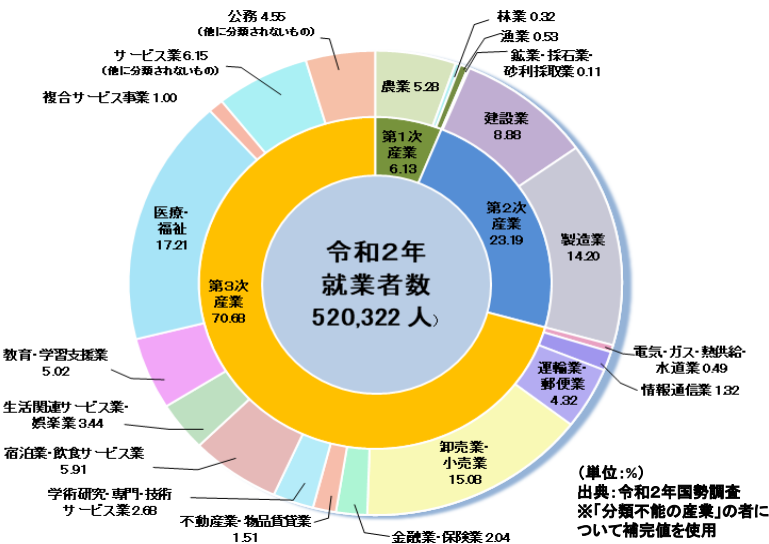
県内総生産(名目)の推移



資料: 県統計調査課

令和5年度の県内総生産(名目)は、約5兆887億円となっており、平成23年度以降最高となっています。

また、令和3年度の生産額及び令和2年の就業者数は、いずれも第3次産業が最も多く、次いで第2次産業、第1次産業の順番となっています。



(3) 産業の状況

① 農林水産業

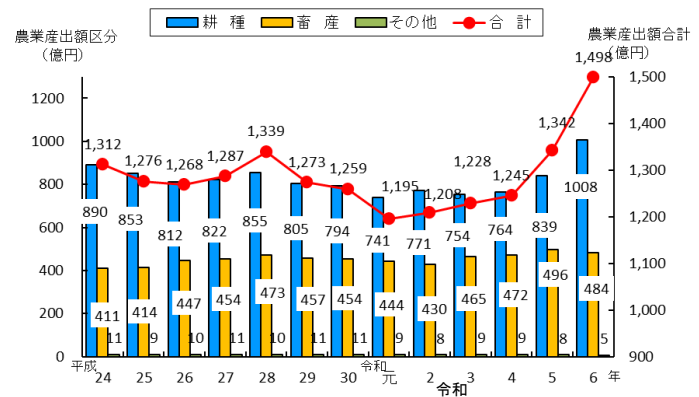
農業では、野菜(ねぎ、ピーマン、高糖度かんしょ、ベリー等)、果樹(なし、かぼす等)、花き(ホオズキ等)等の園芸品目や肉用牛を中心とする畜産など、県内各地の立地条件を活かした多様な営農が展開されています。

林業では、日田市、佐伯市を中心とした、スギの木材生産や、豊後大野市や竹田市を中心とした乾しいたけ生産が盛んです。

水産業では、関あじ・関さばをはじめとした漁船漁業や、ブリやヒラメ等の養殖業が営まれています。

農業

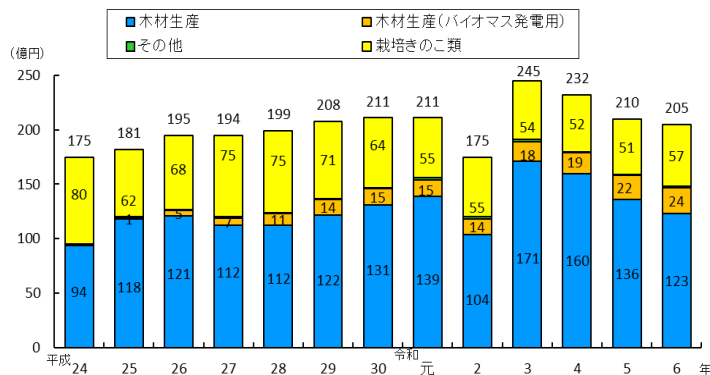
農業産出額の推移



資料: 農林水産省

林業

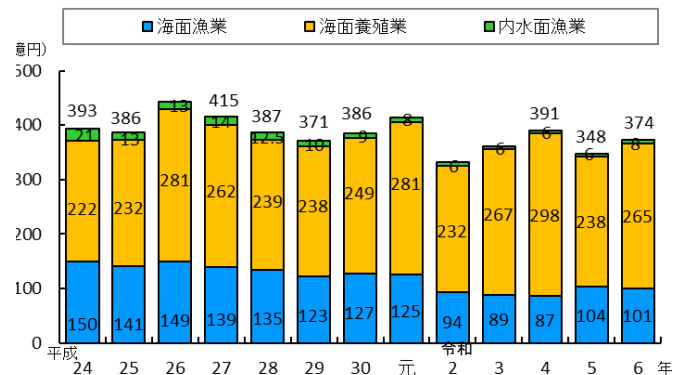
林業産出額の推移



資料: 農林水産省

水産業

水産業産出額の推移



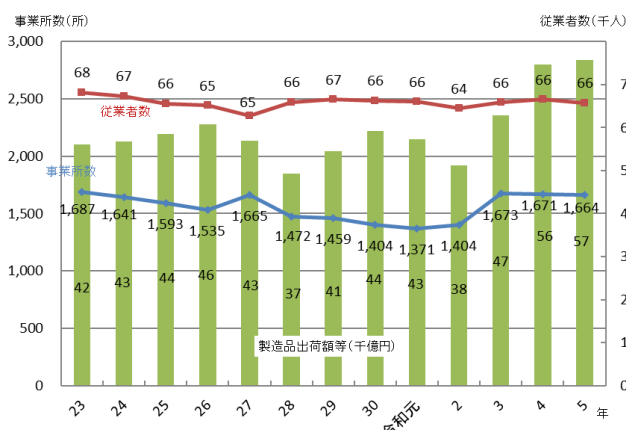
資料: 農林水産省、県水産振興課

② 商工業

大分県には、鉄鋼、石油、化学、半導体、精密機械、自動車、医療機器など幅広い産業がバランスよく立地しており、製造品出荷額等(令和5年)は約5兆7千億円となっています。(九州2位)

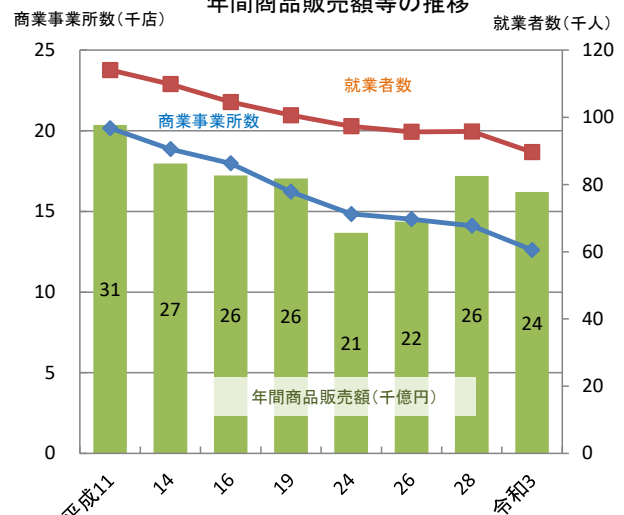
商業については、商業事業所数は減少が続いています。年間商品販売額(令和3年)は約2兆4千億円となっています。

製造品出荷額等の推移



資料: 経済産業省(経済構造実態調査他)

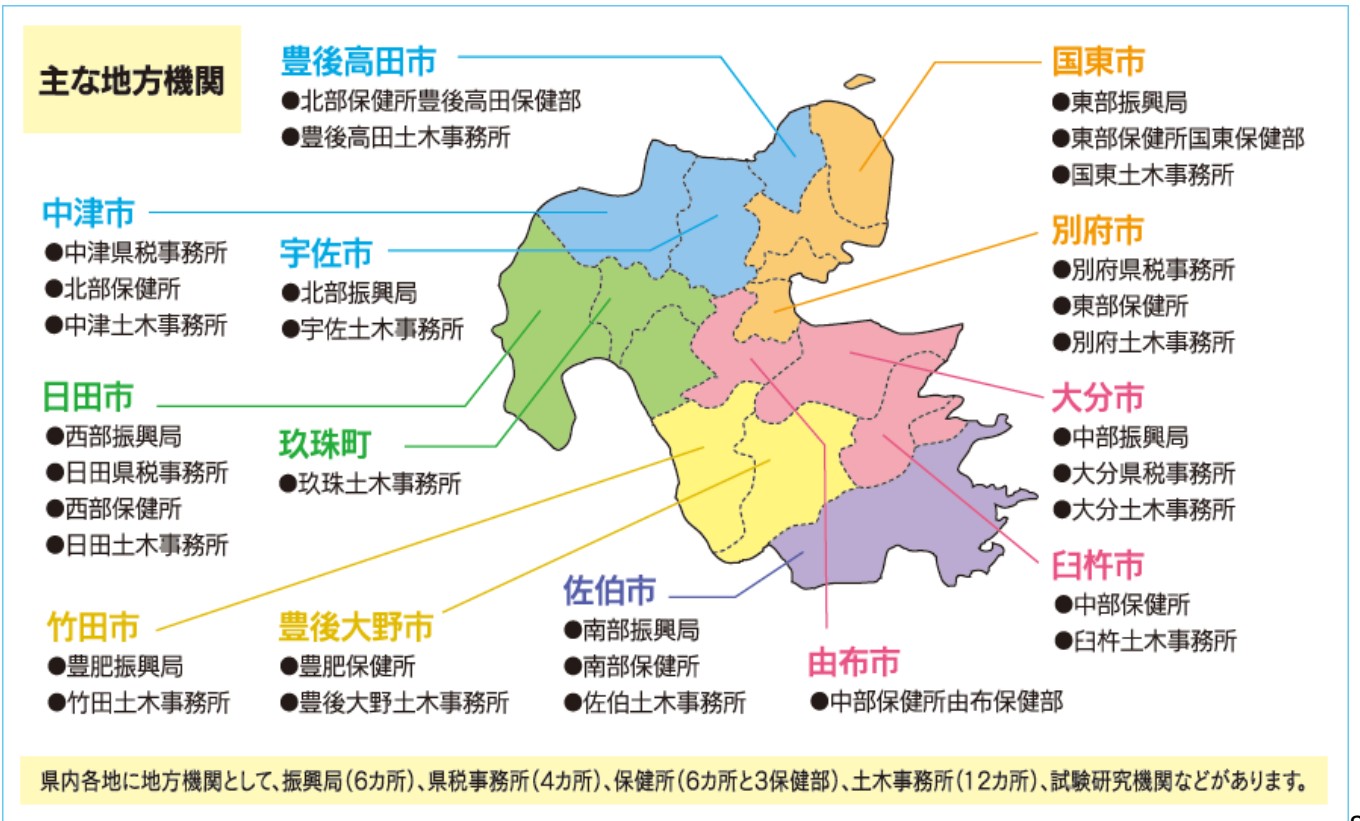
年間商品販売額等の推移



資料: 経済産業省



※このほか、行政委員会として選挙管理委員会、海区漁業調整委員会、内水面漁場管理委員会、収用委員会があります。組織改正等により変更となる場合があります。





県民の皆さまとともに、**安心・元気・未来創造**の大分県づくりを力強く進め、明日の大分県を夢と希望あふれる新たなステージへと発展させていきます。

計画の性格・役割

県行政の長期的、総合的な指針を示した最上位計画です。
県民と行政が目指すべき目標を共有し、力を合わせて取り組む内容を示したものです。

計画の期間

令和6年度（2024年度）から令和15年度（2033年度）までの10年間とします。
ただし、中間年にあたる令和10年度（2028年度）に見直しを行います。

計画実行にあたっての基本姿勢

基本姿勢	対話	県民一人ひとりの声が政策の原点
	連携	多様な主体との連携が県政推進の原動力
	継承・発展	従来からの取組を加速させながら、新しい大分県づくりに的確かつ果敢に取り組む

計画の構成

基本目標

- 誰もが **安心** して **元気** に活躍できる大分県
- 知恵と努力が報われ **未来** を **創造** できる大分県

安心

県民が安全で安心して暮らせる大分県づくり

- 1 災害に強い県土づくりと危機管理の強化
- 2 持続可能な環境づくりの推進
- 3 すべての子どもが健やかに生まれ育つ温かい社会づくり
～子育て満足度日本一の実現～
- 4 健康長寿社会の構築と安心できる医療・介護の提供
～健康寿命日本一の実現～
- 5 障がい者が心豊かに暮らし働ける社会づくり
～障がい者活躍日本一の実現～
- 6 多様性を認め、互いに支え合う社会の構築
- 7 誰もが安全・安心に暮らせる社会づくりの推進

7 政策

24 施策

49 指標

元気

県民が元気に活躍できる大分県づくり

- 1 自ら考え・動き・みんなで実現する元気な農林水産業
- 2 力強く元気な経済を創出する産業の振興
- 3 地域の特色を活かしたツーリズムの推進と観光産業の振興
～世界に選ばれるおんせん県おおいた～
- 4 海外の成長を取り込み共に発展する大分県の実現
- 5 誰もが自分らしく、いきいきと活躍できる社会づくり
- 6 芸術文化による創造県おおいたの発展
- 7 「する」「みる」「ささえる」スポーツの推進

7 政策

16 施策

42 指標

未来創造

新たな魅力を生み出し、未来を創造する大分県づくり

- 1 未来へつながる交通ネットワークの充実と企業立地・産業集積の促進
- 2 地域の未来を担う人材の確保と魅力ある地域社会の形成
- 3 大分県版カーボンニュートラルの推進
- 4 デジタル社会の実現と先端技術への挑戦
- 5 変化の激しい社会を生き抜く力と意欲を育む「教育県大分」の創造

5 政策

17 施策

42 指標

長期総合計画 の達成により



年齢や性別、国籍、障がいの有無等にかかわらず、多様性を認め合い、誰もがいきいきと活躍している「**共生社会おおいた**」が実現



魅力・ブランド力が高まり、移住・定住や観光、企業進出、投資など、あらゆる分野で県内外から「**選ばれるおおいた**」が実現

安心

構成

県民が安全で安心して暮らせる大分県づくり

政策1

自然災害と地球温暖化は
密接に関連

災害対策

安心の大前提 環境を“守る”

政策2

環境保全

政策3

子育て
こども・

満足度日本一

政策4

健康・医療・
介護

健康寿命日本一

政策5

障がい者

活躍日本一

政策6

全ての政策と
連携して実施共生社会
人権・

多様性を認め合う

政策7

治安・
県民生活命・暮らし、
食を守る

政策1

災害に強い県土づくりと
危機管理の強化

安岐ダムの再生（国東市）

自主防災組織による
避難訓練

- 施策
1. 強靱な県土づくりの推進
 2. 大規模災害等に備えた防災対策の高度化
 3. 「人的被害ゼロ」に向けた地域防災力の強化
 4. 感染症流行への備え

キーワード

- 県土強靱化
- 先端技術による高度化
- 自助・共助
- 早期避難
- 感染症対策

10年後の目標す姿

- 県民の安心の大前提となる災害に強い県土づくりが着実に進んでいます。
- AIや衛星データ、ドローン、空飛ぶクルマ^{※1}などの先端技術を活用した防災対策の高度化が進んでいます。
- 「自助」の意識向上や「共助」の体制づくりが進み、早期避難行動が地域に定着しています。
- これらの取組が総合的に進み、自然災害から県民の命が守られています。
- 新興・再興感染症からも県民の生命・健康を守ることができています。

※能登半島地震を踏まえ、避難所の物資備蓄・空調整備や優先啓開ルート上の橋梁耐震化、孤立集落対策等も強化します。



政策2

持続可能な環境づくりの推進

環境保全団体の清掃活動
（田浦ビーチ）（鶴子川溪谷九重町）
（おおいたの重要な
自然共生地域）

- 施策
1. 地球温暖化の緩和と気候変動への適応
 2. 環境への負荷を抑えた循環型社会の構築
 3. 豊かな自然の保全と活用
 4. 環境を守り活かす担い手づくりの推進

キーワード

- グリーンアップおおいた
- 温室効果ガス排出削減
- 吸収源対策
- 循環型社会
- 自然・温泉の保全、活用

10年後の目標す姿

- 県民運動「グリーンアップおおいた^{※2}」や「おおいたグリーン事業者認証制度^{※3}」など、県民総参加の取組により、温室効果ガス排出量が減少し、吸収源^{※4}対策が拡大しています。
- プラスチックごみなどの廃棄物の排出抑制と循環的利用が進み、環境への負荷を抑えた循環型社会が構築されています。
- 豊かな自然や生物多様性が保全され、温泉の持続可能な利用やユネスコエコパーク等を活かした地域づくりが進んでいます。



※1 電動化、自動化といった航空技術や垂直離着陸などの運航形態によって実現される、利用しやすく持続可能な次世代の空の移動手段
 ※2 本県の環境を「守る」のみならず「活かして選ばれる」視点を加え、経済の発展も促す取組「環境先進県おおいた」を目指す県民運動
 ※3 CO₂削減やプラスチック削減に取り組む事業者を県が認証し、認証事業者の取組を支援する制度
 ※4 CO₂等の温室効果ガスを吸収する森林や海洋等のこと
 ※5 身近な自然で生物多様性が保たれている又は希少野生動植物が生息・生育している地域のうち、自然公園法等による法的規制がない又は弱い地域を中心に大分県が選定する地域

安心

元気

未来創造

政策 3

すべてのこどもが
健やかに生まれ育つ
温かい社会づくり

～子育て満足度日本一の実現～

施策

1. 子育てしやすい社会づくりの推進
2. 結婚・妊娠の希望が叶い、すべてのこどもが健やかに生まれ育つ環境の整備
3. こどもまんなかまちづくりの推進
4. 児童虐待の未然防止・早期対応と社会的養育の推進
5. 様々な困難を抱えるこどもたちへの支援

ホームスタート
(家庭訪問型子育て支援)県営住宅の子育て世帯向け
住戸整備のイメージ

こども食堂

10年後の目指す姿

- 子育て世帯がこどもの育ちや子育ての喜びを実感し、こどもたちは自己肯定感を持って、健やかに成長しています。
- 若者が、結婚・妊娠・出産、子育てをポジティブに捉え、こどもを生き育てていく希望を持っています。
- 地域社会全体で子育てを応援する環境が整い、ヤングケアラ―^{*6}など困難を抱えていたこどもやひとり親家庭の親子が安心して生活しています。
- 児童虐待の未然防止・早期対応が進み、家庭を離れて暮らさざるを得ないこどもが、里親などの家庭的な環境で養育され、家庭復帰や自立に向けた支援を受けています。
- すべてのこども、すべての子育て世帯に温かい社会づくりが進み、「子育て満足度日本一」が実現しています。

キーワード

- 子育ての喜び・子育て
- 自己肯定感
- 地域社会で子育て応援
- こどもまんなかまちづくり
- 居場所づくり

主な目標指標

子育て満足度日本一
(11の指標で評価)R5 全国15位 **UP** 1位 R6~15の各年度

政策 4

健康長寿社会の構築と
安心できる医療・介護の提供

～健康寿命日本一の実現～

施策

1. みんなで進める生涯を通じた健康づくり
2. 安心で質の高い医療の確保
3. 高齢者が安心して暮らせる地域包括ケアの充実

介護予防サービス
(短期集中予防サービス)特別養護老人ホームにおける
離床センサーを活用した見守り

キーワード

- 地域包括ケア
- 通いの場
- 介護予防
- 在宅医療
- 生涯を通じた健康づくり

10年後の目指す姿

- 医療、介護、介護予防などが包括的に提供される地域包括ケアシステム^{*7}が充実し、通いの場（高齢者サロン）で多様な活動も展開される中で、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしています。
- 誰もが無理なく、自然に、楽しく、健康的な生活習慣を身につけることにより、生涯を通じ、心身ともに健康で活力あふれる人生を送る「健康寿命日本一」が実現しています。

主な目標指標

健康寿命日本一

R3公表

男性1位

73.72歳

女性4位

76.60歳

3年ごとに公表
(R6、R9、R12、R15)**UP** 1位
男女ともに

※6 本来は大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っているこども

※7 高齢者の誰もが、できる限り住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、個々の高齢者の状況等に応じて、医療や介護、介護予防等のサービスを包括的に提供する体制

安心

元

気

未来創造

政策 5

障がい者が心豊かに暮らし
働ける社会づくり

～障がい者活躍日本一の実現～



障がい者の一般就労

アート創作活動
（社会福祉法人朗想の郷）10年後の
目指す姿

- 障がい者が、支援を受けるだけでなく、地域での活動や芸術文化、スポーツなど、様々な社会活動に自らの意志・希望で参画し、多様な就業機会の中から自分に合う働く場を自ら選ぶことで、心豊かな地域生活を送る「障がい者活躍日本一」が実現しています。

施策

1. 障がい者の希望や特性に沿った就労・自立支援
2. 障がい者が安心して暮らせる地域生活の支援

キーワード

- 活躍 ■自らの意志・希望、決定
- 多様な就業 ■地域活動、地域生活
- 芸術文化・スポーツ活動

主な目標指標

障がい者活躍日本一
（9の指標で評価）

R5

全国3位

UP

1位

R6～15
の各年度

政策 6

多様性を認め、
互いに支え合う社会の構築「女性に対する暴力をなくす
運動」街頭啓発こどもから高齢者まで
多様な住民が参加する
多世代交流10年後の目標
目指す姿

- 多様な価値観や生き方を認め合い、すべての人の人権が尊重される社会が実現しています。
- 多世代交流活動や様々な困りごとにワンストップで対応する包括的支援体制が充実し、人と人とのつながりを実感できる社会が実現しています。
- NPOと多様な主体との連携・協働が進み、地域課題の解決につながっています。

施策

1. すべての人の人権が尊重される社会づくり
2. 誰もが共につながり支え合う地域共生社会の実現
3. NPOとの協働の推進と支援

キーワード

- 多様な価値観
- 認め合う、尊重し合う
- 地域共生社会 ■多世代交流
- NPOとの協働

主な目標指標

体験的参加型人権学習を
受講した児童生徒

R5

100%

維持

100%

R6～15
の各年度

包括的な支援体制を整備した市町村

R5

5市町

UP

18

R10～15の各年度
市町村

政策 7

誰もが安全・安心に
暮らせる社会づくりの推進自主防犯パトロール隊
によるこどもの見守りバランスの良い食事の学習
（津久見高校）

キーワード

- 良好な治安
- 消費者の安心
- 動物愛護
- 食の安全・安心、食育

10年後の目標
目指す姿

- 犯罪が減少し良好な治安が保たれ、県民が消費者被害・トラブルを回避し、安心して安全な商品やサービスを購入・消費しています。
- ペットの適正飼育が進み、人と動物が愛情豊かに暮らしています。
- 「食」を大切にする意識が広く県民に醸成される中で、地域の魅力ある食文化が保護・継承され、地域づくりに活用されています。

施策

1. 良好な治安と安全で快適な交通の確保
2. 消費者の安心や生活衛生の向上と動物愛護の推進
3. 食の安全・安心の確保と未来へつなぐ食育の推進

主な目標指標

刑法犯認知件数（年間）

R5

2,993件

DOWN

R6～15の各年度

過去最少値

※策定時点 2,794件（R4）

月1回以上食育に取り組む小・中学校

R5

98.1%

UP

100%

R6～15
の各年度

元
気構
成

県民が元気に活躍できる大分県づくり

政策1

政策2

政策3

政策4

政策5

政策6

政策7

1～3次産業の振興

農林水産業

地域経済

中小企業・

ツーリズム

観光・

成長産業化

外国人共生

海外戦略・

全ての政策と連携して実施

育成

人材確保・

地域の元気づくり

芸術文化

スポーツ

創造性を活かした高付加価値化

障がい者芸術・スポーツも包含

政策1

自ら考え・動き・
みんなで実現する
元気な農林水産業

施策

1. 園芸・畜産の生産拡大を中心とした農業の成長産業化
2. 循環型林業の確立による林業・木材産業の持続的な発展
3. 環境変化に対応し豊かな海を次世代につなげる水産業への転換



園芸団地のイメージ



木材大径材加工施設



端境期出荷に対応したブリの人工播苗

10年後の目指す姿

- 農業では、園芸品目の産地拡大や畜産の規模拡大などが進み、中山間地域では、集落営農法人^{※8}等が地域農業を支えています。
- 林業では、「伐って・使って・植えて・育てる」循環型林業が確立し、大径材の活用と早生樹^{※9}による再造林が進んでいます。
- 水産業では、マーケットや環境に対応した養殖業や適正な資源管理による安定した漁船漁業が行われています。

キーワード

■ 農業の成長産業化 ■ 循環型林業 ■ 環境変化に対応した水産業


政策2

力強く元気な経済を
創出する産業の振興

施策

1. 中小企業の経営基盤の強化とイノベーションの促進
2. ものづくり産業の「稼ぐ力」の向上
3. 地域を支える商業の活性化とサービス産業の革新



起業家や経営者のコミュニティイベント



商工団体向けの経営指導に関するセミナー

キーワード

- 稼ぐ力の向上
- スタートアップ支援
- ものづくり産業の振興
- 商業・サービス業の振興
- 県産品の販路拡大

10年後の目指す姿

- 中小企業・小規模事業者の「稼ぐ力」が高まり、スタートアップ^{※10}や第二創業^{※11}が持続的に生まれ、着実に成長しています。
- 半導体や自動車、コンピナート関連産業などのものづくり企業が付加価値を高め、地域雇用や経済振興に貢献しています。
- 地域を支える商業が活性化するとともに、農林水産物や加工品などの県産品が国内外で新たな販路を開拓・拡大しています。



※8 農地利用や農業生産過程について、集落等において共同化・統一化に関する合意のもとに実施する組織で、法人格を有するもの。

※9 一般的には、スギやヒノキに比べて成長が早いコウヨウゼンなどの樹種を指す。なお、大分県では成長が早いスギのエリートツリー等も含めて早生樹と称している。

※10 革新的なアイデアやビジネスモデルの構築により、起業から短期間で急成長を遂げる企業

※11 企業がこれまでとは異なる分野に乗り出したり、新たな事業をスタートさせたりして、経営刷新を図ること。

安

心

元

気

未
来
創
造

政策 3

地域の特色を活かした ツーリズムの推進と 観光産業の振興

～世界に選ばれるおんせん県おおいた～

施策

1. 地域に元気をもたらす国内誘客・海外誘客（インバウンド）の推進
2. 住んでよし、訪れてよしの持続可能な観光地域づくり



別府のゆけむり



長湯温泉の高温度炭酸泉



駐染め体験



台湾からの訪日教育旅行

アドベンチャーツーリズム
（国東半島筆道ロングトレイル）サイクルツーリズム
（番匠サイクリング）

10年後の目指す姿

- 国内外からの観光客が、温泉を楽しむとともに、地域の特色を活かしたパラエティに富む観光資源を堪能するため、本県を繰り返し訪れ、長期滞在しながら周遊しています。
- 国内外から選ばれる観光地として発展を遂げる中にあっても、地域の自然・文化や環境の保全と観光振興が両立し、地域住民と観光客双方にとって満足度の高い持続可能な観光地域づくりが県内各地で進んでいます。

キーワード

■おんせん県おおいた ■滞在型観光 ■県内周遊 ■持続可能な観光地域づくり



政策 4

海外の成長を取り込み 共に発展する大分県の実現

施策

1. 企業の海外展開と県産品の輸出の促進
2. 外国人に選ばれ、共生できる大分県づくり



展示商談会（上海市）



農産品PR求ストン市



ASEAN諸国との交流

10年後の目指す姿

- 県内企業が海外展開に果敢に挑戦し、アジアのみならず欧米等にもそのウイングを広げ、県産品の輸出拡大等を通じ、海外の成長を取り込んでいます。
- 本県が、安心して暮らし働ける魅力的な地域として外国人から選ばれ、国籍や民族が異なる人々が、対等な関係を築きながら共生する多文化共生社会が実現しています。

キーワード

■海外展開 ■県産品の輸出促進 ■多文化共生社会



政策 5

誰もが自分らしく、いきいきと
活躍できる社会づくり

若年者の県内就職支援
(dot.福岡市)



県内の建設現場で活躍する女性

10年後の
目指す姿

- 本県が、県内外から魅力ある就業先として選ばれ、多様な人材があらゆる産業で活躍・定着し、県内産業の持続的発展を支えています。
- 「共家事」や「共育て」が定着する中で、働く場をはじめ、防災や地域づくりなど様々な分野で女性が活躍し、女性の視点が活かされています。

キーワード

■産業を支える人づくり ■若年者の県内就職 ■女性活躍

施策

1. 多様な人材が活躍できる環境づくりと産業を支える人づくり
2. 女性が輝き活躍できる社会づくりの推進



政策 6

芸術文化による
創造県おおいたの発展

文化キラバンによる
小学校への巡回公演



富貴寺大聖(現存する
九州最古の木造建築物)

10年後の
目指す姿

- 県民誰もが、多彩で質の高い芸術文化に触れ・親しみ・自ら創作し、子どもたちは豊かな感性や創造力を育んでいます。
- 芸術文化の持つ可能性があらゆる分野と融合し、観光誘客や産業の高付加価値化につながっています。
- 地域の人々が、愛着を持って文化財や伝統文化を保存・継承し、まちづくりや地域活性化に活かしています。

キーワード

- 県民誰もが親しむ
- 子どもたちの感性・創造力
- 他分野との融合、高付加価値化
- 継承・地域づくり



政策 7

「する」「みる」「ささえる」
スポーツの推進

ジュニアアスリートの
発掘(アーチェリー)



ツール・ド・九州2023
大分開催



ハンガリー・アメリカ
女子水球代表の県内合宿

10年後の
目指す姿

- 県民誰もがスポーツに親しみ、健康で活力あふれる生活を送っています。
- 本県出身選手が全国大会やオリンピック、パラリンピックなどの国際大会で活躍しています。
- 本県が、国際的なスポーツ大会や事前キャンプの開催地、プロスポーツチームの合宿地に選ばれ、選手と県民が活発に交流しています。

キーワード

- 県民誰もが親しむ
- 世界に羽ばたく選手の育成
- 国際大会・合宿誘致
- プロスポーツチームと県民の交流

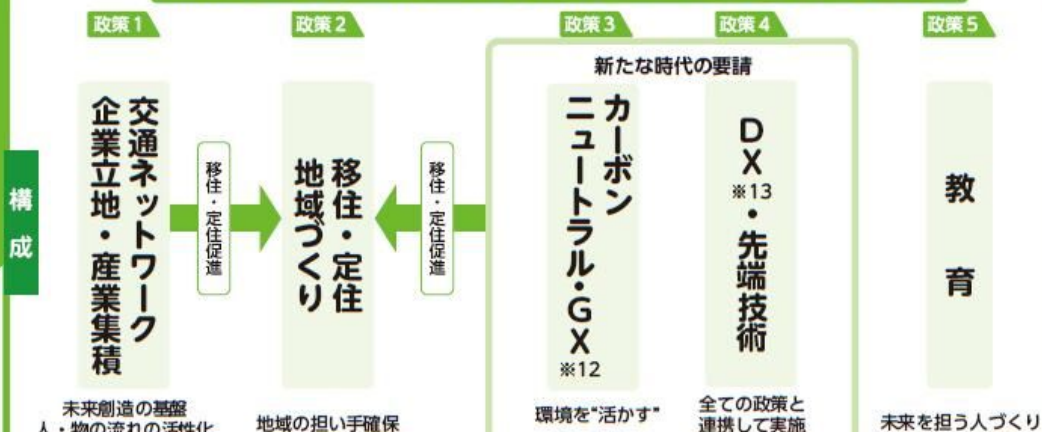


施策

1. ライフステージに応じた県民スポーツの推進
2. スポーツによる地域の元気づくりの加速

未来創造

新たな魅力を生み出し、未来を創造する大分県づくり



政策1

未来へつながる 交通ネットワークの充実と 企業立地・産業集積の促進

施策

1. 人や物の流れを活性化する
広域交通ネットワークの充実
2. 九州の東の玄関口としての空港・港湾機能の強化
3. 地域を支える交通ネットワークの充実
4. 戦略的・効果的な企業立地と産業集積の推進

大分県の広域道路ネットワーク(R6.3時点)



キーワード

- 広域交通ネットワーク
 - ・高規格道路
 - ・東九州新幹線
 - ・豊予海峡ルート構想
- 九州の東の玄関口
 - ・空港・港湾機能の強化
- 地域公共交通の充実
- 企業立地・産業集積

凡例(道路)	
—	開通区間
—	事業中区間
—	計画路線



東九州自動車道の4車線化
(宇佐IC・院内IC)



中津日田道路
(三光本耶馬渓道路)



九州・四国広域交通
ネットワークシンポジウム



別府港の再編イメージ



自転車通行空間の整備
(国道442号・大分市)



中津市に立地した
半導体企業

- ※12 グリーンTRANSフォーメーション (Green Transformation) の略。温室効果ガスの排出削減と経済成長をともに実現すべく、化石燃料をできるだけ使わず、クリーンなエネルギーを活用していくための変革やそれに向けた活動
- ※13 デジタルTRANSフォーメーション (Digital Transformation) の略。ユーザー目線でビジョンを描き、ビジョンの実現に向けてデータとデジタル技術を活用して、これまでのビジネス等を変革すること。

10年後の目指す姿

- 東九州自動車道の4車線化や中九州横断道路、中津日田道路等の高規格道路の整備が加速する中で、企業立地や産業集積、さらには観光誘客、移住・定住も呼び込む好循環が生まれています。
- 豊予海峡を通じて連結する東九州新幹線と四国新幹線が整備計画路線となり、県民の期待が高まっています。
- 陸上高速交通体系と空港・港湾などの主要拠点が結節するネットワークが着々と形成される中で、本県のプレゼンスが一層高まり、九州の東の玄関口として、多くの人や物が県内の陸路・空路・海路を介して、九州内外を行き来しています。
- バスやタクシー等の乗務員が確保され、自動運転や次世代空モビリティ^{※15}等、新たな移動手段も導入される中で、地域交通が県民の暮らしや産業を支えています。

主な目標指標

高規格道路の整備延長^{※14}

R5 140km UP **38km** 延伸 (178km) R15

空港乗降客数(年間)

R5 183.9万人 UP **266.4** 万人 R15

乗合バス運転手の充足率

R5 93.9% UP **100%** R8~15の各年度

政策 2

地域の未来を担う人材の確保と魅力ある地域社会の形成



移住相談会(dot.福岡市)



高齢化集落応援隊の草刈活動

キーワード

- 移住・定住
- ネットワーク・コミュニティ
- 持続可能な地域づくり
- 地域の担い手確保

10年後の目指す姿

- 温泉や自然などの豊かな資源、子育てしやすい環境、環境先進県としての取組、多様な企業の立地などの本県の魅力が、新たな人材を呼び込む好循環を生み出しています。
- 若者や子育て世帯が、暮らしやすさや住みやすさを実感しながら、地域への定住を選択し、移住者とともに地域の担い手として活躍することで、持続可能で輝く地域社会が形成・継承されています。

主な目標指標

移住促進策による移住者数(年間)

R5 2,258人 UP **3,146** 人 R15

県内高校・大学等新卒者の県内就職率

R4 57.6% UP **63%** R14

政策 3

大分県版カーボンニュートラルの推進

施策

1. 温室効果ガスの排出抑制と吸収源対策の強化
2. 経済と環境の好循環を生み出すGXの推進

大分コンビナート



キーワード

- GX
- 経済と環境の好循環
- ビジネスチャンス
- 水素サプライチェーン
- 環境先進県おいた

2050年に向けた目指す姿(グリーン・コンビナートおいたの推進構想:令和6年1月)



次世代エネルギーである水素などの供給・利活用、CO₂を利活用したカーボンサイクル^{※16}など、大分コンビナートを中心に県内企業のGXの取組を推進していきます。

※14 大分県が計画期間中に開通を見込んでいる区間を計上(東九州自動車道の4車線化を含む)

※15 ドローンや空飛ぶクルマなど、空を拠点とした人・物の新しい移動手段

※16 CO₂を資源として捉え、分離・回収して様々な製品や燃料に再利用すること。



グリーンコンパクト
おおいた推進会議



水素ステーションと
燃料電池自動車



地熱発電電力を活用した
水素製造実証事業

10年後の目標目安

- 2050年のカーボンニュートラル実現に向け、県民総参加による温室効果ガスの排出削減や森林資源等を活かした吸収源対策が進んでいます。
- 大分コンパクトをはじめとする県内事業者が、脱炭素化と持続的成長の両立に向けたGXに果敢に挑戦し、環境対策を新たなビジネスチャンスにつなげる企業が生まれています。
- 需要と供給がバランスよく拡大した地産地消型の大分県版水素サプライチェーンが構築されています。
- グリーンアップおおいたの取組が、企業への投資や観光誘客、移住・定住等を促進し、「大分」＝「環境先進県」のイメージが定着しています。



政策 4

デジタル社会の実現と 先端技術への挑戦

- 施策
1. 生産性・付加価値を高め県経済を発展させる DX の推進
 2. 県民の暮らしをより便利で豊かにする DX の推進
 3. 先端技術を活用した新産業の育成と地域課題の解決



ICT建設機械による施工



防災直後の救援物資の
ドローン配送(全国初)



介護ロボットによる移乗支援



キャッシュレス対応した
行政窓口(日田市役所)



空飛ぶクルマが活躍する姿



空飛ぶクルマの
機体開発等に向けた覚書締結

10年後の目標目安

- あらゆる産業にDXが浸透・定着し、生産性向上や新たな価値・サービスの創出が図られる中で、県内事業者の競争力が高まっています。
- 防災、医療・福祉、交通、教育や行政分野のDXが進展し、県民誰もがデジタル化の恩恵を受け、豊かで便利な暮らしを実感しています。
- AIや次世代空モビリティなどの先端技術を導入・活用する県内事業者が数多く生まれ、新産業創出や新たな産業集積を呼び込んでいます。
- 実装された様々な先端技術が、人手不足の解消や移動手段の確保など、地域課題の解決にも貢献しています。

キーワード

■ DX ■ 産業の生産性向上 ■ 暮らしの質の向上 ■ 先端技術への挑戦



政策 5

変化の激しい社会を 生き抜く力と 意欲を育む 「教育県大分」の創造

施策

1. 学びを保障し、可能性を引き出す学校教育の推進
2. 社会の変化に対応する教育の展開
3. 安全・安心で質の高い教育環境の確保
4. 信頼と対話に基づく学校運営の実現
5. 大学等との連携による人材の育成・定着と地域の活性化
6. 共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進



高校における遠隔授業



グローバルリーダー育成塾

生成AIの活用授業
(文部科学省指定校)学校運営協議会
(日出町立豊岡小学校)水産養殖の現場を学ぶ
(日本文理大学)

キーワード

- 学びの保障（遠隔教育※17等）
- 確かな学力、豊かな心、健やかな体
- 社会の変化に対応できる力
- 学びの個別最適化
- 地域とともにある学校づくり
- 県内大学等の魅力向上

10年後の目指す姿

- 県内のどの地域に住んでいても、多様で質の高い教育を受けられる環境が整い、すべてのこどもの学びが保障されています。
- こどもたちが、確かな学力、豊かな心、健やかな体、未来を切り拓く力を身に付け、夢や希望に向かって意欲的に挑戦しています。
- イノベーションを担う人材やグローバル人材が育ち、データやAIを活用した学びの個別最適化やいじめ・不登校対策の充実、私立学校による魅力ある教育が展開されています。
- こどもの学びと成長を地域全体で支える環境が整い、学校・地域の双方に活気があふれています。
- 県内大学等の魅力が高まり、多くの進学希望者から選ばれ、多くの卒業生が県内に就職・定着しています。

主な目標指標

児童生徒の学力 (全国平均正答率との比) (中学校)

R5 98% **UP** 102% R15

県立高校専門学科の定員充足率

R5 90.4% **UP** 95% R10~15の各年度

県内大学等卒業生の県内就職率

R4 41.2% **UP** 50% R14

計画推進のために

1 県民の参画による計画の進行管理

県民の参画によるフォローアップ委員会を設け、計画の進行管理を行います。また、評価の結果等については、県庁ホームページ等を通じて公表します。

2 計画推進を支える行財政改革の実行等

令和6年度から新たな行財政改革に取り組み、安定的で持続可能な行財政基盤を確保していくことで、同時にスタートする本計画の実行を確実なものとしていきます。

3 持続可能な社会を目指して ～SDGsの実現～

SDGsの理念は、「誰もが安心して元気に活躍できる大分県」、「知恵と努力が報われ未来を創造できる大分県」の実現を目指す本県の方針と軌を一にします。計画の推進により、持続可能な社会の実現を図ります。

※17 教員と児童生徒が場所を限定せずにオンライン上でやりとりできる学習の形態。大分県では、配信センターから地域の学校に習熟度別授業を行う「配信センター方式」と、専門科目等を実施する学校から地域の学校に多様な科目の授業を行う「学校間連携方式」がある。

今後見込まれる社会の変化

○少子高齢化・人口減少に伴う構造的な課題

- 急速な少子高齢化・人口減少の進行による官民双方の担い手不足の深刻化
- 公共サービス等（公共性が高い民間の事業を含む）の生産性低下
- 社会資本・公共施設の急速な老朽化
- 高齢化率の上昇や子ども・子育て支援に伴う社会保障関係費の増加
- 社会保障関係費の伸びや防災・減災、国土強靱化の推進等による公債費の増嵩

○デジタルや先端技術の進展への対応

- 国によるデジタル行財政改革の推進
（デジタルの力を最大限に活用した公共サービス等の維持・強化、地域活性化、社会変化の実現）



計画策定の基本的な考え方

- ◆ 大分県新長期総合計画の県政運営を支える基盤を構築
- ◆ デジタルや先端技術の力を活用し、社会変革の実現に向けた取組を加速度的に推進
- ◆ これらの取組により公共サービス等の維持向上を目指す

計画期間

2024年度（令和6年度）を初年度とし、2028年度（令和10年度）までの5年間とする

主な取組

1. 県民目線に立ったデジタル社会の実現

- DXの加速化と先端技術の活用（デジタル行革による業務効率化、公共性の高い分野のDX推進）
- 行政におけるDX人材の確保・育成と環境整備

2. 連携・協働による公共サービス等の維持・向上

- 市町村連携等による広域課題の解決と効率化（水道・下水道事業の効率化と持続可能な経営推進）
- 多様な主体との連携・協働（企業、NPO、大学等との連携・協働の推進）

3. 社会資本・公共施設の老朽化への対応

- 長寿命化・予防保全の推進（予防保全型維持管理の推進）
- 市町村のインフラ維持管理業務の支援
- 県有建築物の有効活用・民間活力の活用（県民ニーズを踏まえた施設の用途廃止・集約化）

4. 社会保障関係費の増加への対応

- 医療費適正化と地域医療構想の更なる推進（データ活用による効率的・効果的な保健事業の推進）
- 介護予防・自立支援と高齢者の活躍推進（地域包括ケアの基盤強化と自立支援型サービスの推進）

5. 職員人材の確保・育成と働き方改革の推進、安定的な財政基盤の確保

- 職員人材の確保・育成（職員の定着を高める取組、中長期的視点に立った女性職員の育成・支援）
- 働き方改革の推進（効率的で質の高い働き方を実現するオフィス改革の推進）
- 事業の選択と集中等による安定的な財政基盤の確保（財政調整用基金残高の確保等）

物価高対策の充実と「安心・元気・未来創造ビジョン2024」の加速

今年度は、喫緊の課題である物価高騰対策を充実するとともに、「ビジョン2024」の実現を加速させるための諸施策を盛り込み、過去最大の額となる積極予算を編成しました。

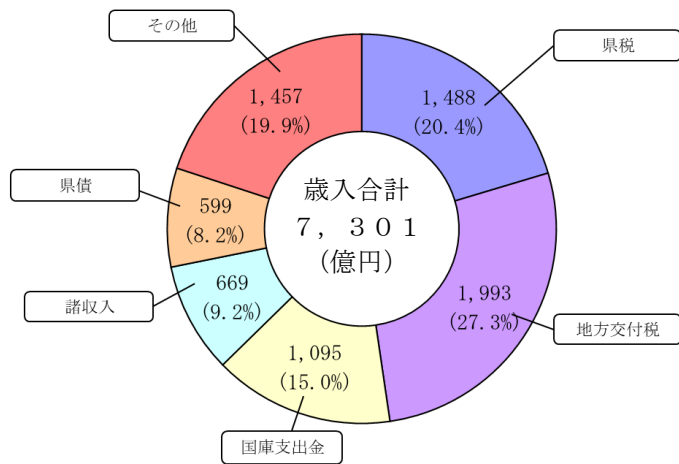
初めに、**物価高騰への対応**です。物価高騰の影響を受ける家計の負担を軽減するため、市町村によるプレミアム商品券の追加発行を支援するほか、公立小学校の給食費や高校の授業料の無償化に取り組みます。また、国の業務改善助成金に対する県独自の上乗せ補助を引き上げるとともに、企業の賃上げを後押しする賃上げ枠を大幅に拡充します。

二つ目は、**県民が安全で安心して暮らせる大分県づくり**です。佐賀関大規模火災からの復興に向け、道路・上水道等の復旧や水産業の支援に取り組むほか、優先啓開ルートや治水・土砂災害対策など県土の強靱化を推進します。また、脱炭素に向けた取組として大分県版スマートムーブキャンペーンを展開するとともに、こどもを安心して育てられる環境整備や医療提供体制の強化、障がい者の就労やスポーツ・芸術活動への支援など、三つの日本一に向けた施策を推進します。

三つ目は、**県民が元気に活躍できる大分県づくり**です。農業の成長産業化に向けて、経営体の生産性向上や温暖化への対策を強化するとともに、輸出先国の多角化にも取り組みます。また、中小企業等の経営の下支えのための制度資金を拡充するほか、夏でも涼しい大分のPRやサンリオキャラクターを活用した魅力発信、芸術文化やスポーツを通じた地域の魅力向上に取り組みます。

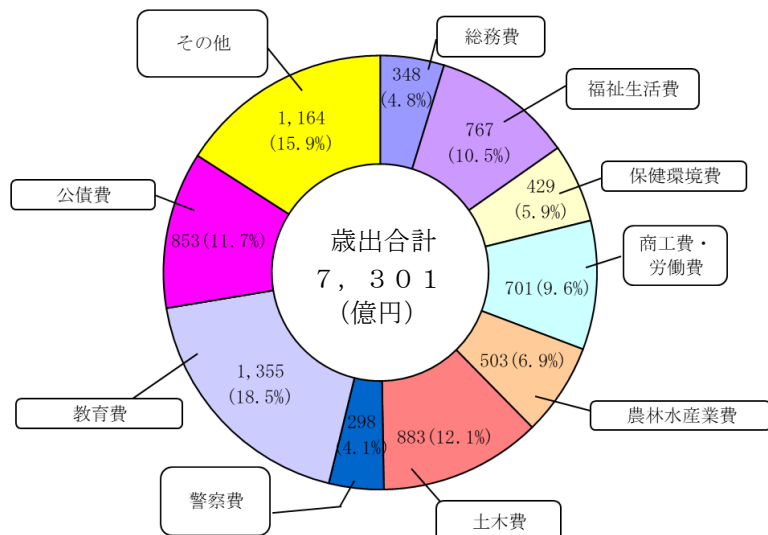
四つ目は、**新たな魅力を生み出し、未来を創造する大分県づくり**です。高規格道路の整備を着実に進めるなど、広域交通ネットワークの充実を図るとともに、移住・定住の促進や空飛ぶクルマなど先端技術の活用にも果敢に挑戦します。さらに、高校教育における遠隔授業の拡充やスクールカウンセラーの追加配置など教育環境の充実を図ります。

これらの施策を軸として、引き続き県民の皆様との対話を基本姿勢に、県民が安心して暮らし、意欲を持って活躍できる大分県づくりに全力を挙げてまいりますので、ご理解・ご協力をよろしくお願いします。



県税	県民税、自動車税、事業税などの税金
地方交付税	国から交付される使途を決められていない財源
国庫支出金	国から交付される使途の決められた財源
諸収入	貸付事業の償還金、宝くじ収入など
県債	道路や公共施設等を作るための借金
その他	特別会計や基金からの繰入金など

令和8年度一般会計予算 7,301億円
(前年度比 1.0%増)



総務費	政策や計画を立案したり、地域活性化のための事業等の経費
福祉生活費	子育て支援や高齢者、障がい者福祉のための経費
保健環境費	健康増進や食の安全・安心、環境保全のための経費
商工費・労働費	企業の活動を促進したり、求職者の支援等をする経費
農林水産業費	農業、林業、水産業の振興を図るための経費
土木費	道路や橋、河川、下水道等を建設したり、修繕したりするための経費
警察費	犯罪や交通事故を防ぎ、県民の安全・安心を守るための経費
教育費	学校を建設したり、文化やスポーツを振興するための経費
公債費	県債を償還する経費
その他	災害復旧費など

物価高・賃上げへの対応

- ・物価高騰の影響を受ける生活者の家計負担を軽減するため、市町村が行うプレミアム商品券の追加発行に機動的に対応できる環境を整えます。
- ・保護者の経済的負担を軽減するため、公立小学校の給食費や高校授業料の無償化に取り組みます。
- ・事業者の生産性向上による持続的な賃上げの実現を後押しするため、各種補助金の補助率等をかさ上げする「賃上げ枠」の設定事業を11事業から24事業に拡大します。

(1)「安心」の大分県づくり

【災害に強い県土づくりと危機管理の強化】

- ・佐賀関大規模火災からの復旧・復興に向け、道路や上水道等の復旧・整備への支援や、佐賀関水産物フェアを実施します。
- ・県民の防災意識の醸成及び避難行動等の定着を図るため、生成AIを活用した個人ごとの地震被害想定ツールの開発に取り組みます。
- ・応急仮設住宅を迅速に供給できる体制を構築するため、応急仮設住宅の概略設計や市町村向け建設候補地選定の手引き作成に取り組みます。
- ・港湾施設の空洞化調査を実施するとともに、AIを活用し市町村の水道管路更新の優先順位の見える化を行います。
- ・頻発・激甚化する自然災害に対応するため、災害時の集落孤立防止等に向けた優先啓開ルート対策や治水・土砂災害対策、ため池防災対策を実施します。



山国川河川改修工事状況

【持続可能な環境づくりの推進】

- ・「環境先進県おおいた」の実現を目指すため、公共交通機関の利用等を促す大分県版スマートムーブの取組を展開します。
- ・公共交通の維持・確保と環境負荷の低減を図るため、1日バス無料デーへの支援など公共交通の利用促進に向けた普及啓発に取り組みます。



グリーンアップおおいたデイの様子

【すべての子どもが健やかに生まれ育つ温かい社会づくり】

- ・若者の出会い・結婚の希望を後押しするため、県主催の婚活イベントの開催に加え、各地域の団体が主催する婚活イベントを支援します。
- ・社会的養育を必要する子どもを家庭的な環境で養育する里親委託を推進するため、新たに「里親支援センター」を設置し、里親募集から委託児童の自立まで切れ目ない支援体制を構築します。



里親支援センター

【健康長寿社会の構築と安心できる医療・介護の提供】

- ・健康寿命の延伸を図るため、社員食堂での食生活改善に向けたモデル事業や健康アプリ「あるとっく」を活用した健康増進キャンペーンを実施します。
- ・在宅医療提供体制を強化するため、機能強化型訪問看護ステーションへの移行等を支援する訪問看護総合支援センターを設置します。

【障がい者が心豊かに暮らし働ける社会づくり】

- ・障がい者の希望や特性に沿った一般就労を促進するため、業務の切り出し動画を作成し配信するとともに、就労継続支援事業所の生産性向上の取組に対する助成を拡充します。
- ・障がい者のスポーツや芸術文化活動を推進するため、パラスポーツ指導員の確保・育成に取り組むほか、障がい者アートを取り入れた商品化まできめ細かく支援します。



障害者アートを活用した商品

【多様性を認め、互いに支え合う社会の構築】

- ・ひきこもりなど社会的自立に困難を抱える青少年等を支援するため、実態把握に向けた調査や社会参加支援員の増員を行います。

【誰もが安全・安心に暮らせる社会づくりの推進】

- ・特殊詐欺等の被害を防止するため、国際電話遮断アプリ等への加入を促進するとともに、市町村と連携し、高齢者世帯への家庭用防犯カメラの設置などを支援します。

(2)「元気」の大分県づくり

【自ら考え・動き・みんなで実現する元気な農林水産業】

- ・労働力不足を補うため、農作業の受託などを担う農業支援サービス事業体が行うスマート機械の導入等を支援します。
- ・水田作物の安定的な生産・供給を推進するため、繁忙期の省力化や規模拡大につながる乾田直播栽培の導入を支援します。
- ・酷暑の影響を受ける農家の経営安定を図るため、温度制御技術などを活用した栽培方法の実証を行うほか、遮光資材等の導入を支援します。
- ・「おおいた和牛」のブランド力向上を図るため、県内外で行われる枝肉共励会への出品を支援するほか、全国和牛能力共進会北海道大会2027での好成績獲得に向け、長距離輸送の実証を行います。
- ・主伐・再造林を一体的に担う中核的な林業経営体を育成するため、無人伐倒機など先進的林業機械の現地実証を通じ、効率化と安全性の向上を両立する作業システムの構築を進めます。
- ・海水の高温化に対応するため、環境変化に対応した種苗放流手法を推進するとともに、暖かい海でも生息が可能で高単価なキジハタの種苗生産体制の確立に取り組みます。

【力強く元気な経済を創出する産業の振興】

- ・県内中小企業の資金繰りを支援するため、経営環境の変動などに対応可能な保証料率ゼロの県制度資金の融資枠を拡充します。
- ・地域を牽引する地場中小企業を育成するため、成長意欲の高い企業を複数年にわたり支援する地域牽引企業創出事業の採択枠を拡大し、100億円企業の創出を後押しします。
- ・中小企業の新規事業立ち上げや、起業へのサポートを強化するため、ビジネスモデルの構築段階から専門家が伴走支援します。

【地域の特色を活かしたツーリズムの推進と観光産業の振興】

- ・観光客の長期滞在と消費拡大を促すため、観光関連事業者が参画するコンソーシアムを立ち上げ、各地で磨いてきた資源を結びつけた広域周遊観光コースの造成を支援します。
- ・酷暑が常態化した夏季におけるインバウンド誘客等を促進するため、涼しく過ごせる観光スポットのPRの実施や観光関連事業者が行う暑さを緩和する設備整備を支援します。(令和7年度2月補正)
- ・本県の魅力発信力を向上させ「選ばれるおおいた」を実現するため、サンリオキャラクター利用にかかる包括的なライセンス契約を締結し、イベントや広報など、様々な場面で活用します。

【海外の成長を取り込み共に発展する大分県の実現】

- ・米国と台湾でのプロモーションを継続するとともに、大阪・関西万博等を契機に交流が進んだ国・地域との友好関係を更に発展させます。
- ・農林水産業者の所得向上を図るため、需要が旺盛なASEAN市場への輸出拡大に向け、東南アジア最大級の食品見本市へ出展し、販路開拓につなげます。

【誰もが自分らしく、いきいきと活躍できる社会づくり】

- ・生産性向上による持続的な賃上げの実現を図るため、国の業務改善助成金に対する県独自の上乗せ補助を拡充し、賃上げを更に後押しします。

【芸術文化による創造県おおいたの発展】

- ・令和8年9月から県有化する「しいきアルゲリッチハウス」を活用して、県民が質の高い音楽に触れる機会を広げるとともに、中学生への歌唱指導等による人材育成に取り組みます。

【「する」「みる」「ささえる」スポーツの推進】

- ・スポーツによる地域活性化を図るため、有識者会議を設置し、スポーツ施設の在り方について将来を見据えた議論を進めるとともに、大分スポーツ公園の魅力向上に取り組みます。



無人伐倒機



クールサマーinおおいた



カナダプリンスエドワードアイランド州との友好関係の構築に関する意向表明書締結式



©Rikimaru Hotta

しいきアルゲリッチハウス

(3)「未来創造」の大分県づくり

【未来へつながる交通ネットワークの充実と企業立地・産業集積の促進】

- ・地域やまちの魅力を高め、人や物の流れを活性化させるため、中九州横断道路や中津日田道路などの幹線道路の整備を促進します。
- ・東九州新幹線や豊予海峡ルートの実現を図るため、新幹線の整備計画路線への格上げ等に向けた全国総決起大会の開催や国への要望活動を行うとともに、シンポジウムの開催、ロゴマーク等を活用した広報活動による機運の醸成を図ります。
- ・九州の東の玄関口としての拠点化に向け、人流拠点となる別府港や物流拠点となる大分港などの整備を促進します。
- ・都市部における渋滞緩和に向けて、(都)庄の原佐野線などの整備を推進します。
- ・持続可能な輸送体制を確保するため、事業者や荷主が行う物流効率化に向けたシステム・設備等の導入を支援します。
- ・戦略的・効果的な企業誘致を推進するため、ビッグデータを活用した本県への進出可能性のある企業ターゲティングを実施するとともに、都市圏などで経営層向けの企業誘致セミナーを開催します。

【地域の未来を担う人材の確保と魅力ある地域社会の形成】

- ・持続可能な地域づくりのため、移動や買い物支援を行う市町村へアドバイザーを派遣するほか、地域の取組を支える地域おこし協力隊を県振興局へ配置します。
- ・本県へのUターンや定住を促進するため、人手不足が深刻な分野に就職した移住者への移住応援給付金や、子育て世帯への空き家利活用補助金などの支援を拡充します。

【大分県版カーボンニュートラルの推進】

- ・大分コンビナートの持続的発展とカーボンニュートラルの両立を実現するため、CO2などの相互融通に向けた実現可能性調査や、カーボンリサイクルなどに関する実証事業への支援を実施します。
- ・中小企業等における脱炭素の取組への支援を強化するため、コンソーシアムを設立するとともに、事業所へのアドバイザー派遣や省CO2技術を新たに導入する事業所を支援します。

【デジタル社会の実現と先端技術への挑戦】

- ・今後の成長が期待される次世代空モビリティ産業の振興を図るため、技術・製品の研究開発や離着陸場整備に向けた調査などを支援します。
- ・中小企業等のDXを加速するため、ワンストップ支援窓口を設置するとともに、人材の育成や、ツール・機器等の導入補助などを実施します。

【変化の激しい社会を生き抜く力と意欲を育む「教育県大分」の創造】

- ・個に応じた多様できめ細かな高校教育を提供するため、遠隔授業実施校を4校から12校に拡大するほか、弱点補強動画の配信などを行います。
- ・地域と学校が一体となり、魅力ある県立学校づくりを進めるため、学校運営協議会の設置校を拡大するとともに、地域連携コーディネーターの配置などを実施します。
- ・国際感覚を養うため、海外の学校との交流を行う県立高校への支援や県立高校における外国語指導助手(ALT)の配置数を拡充します。
- ・安心して登校できる環境を整えるため、いじめ・不登校に対処するスクールカウンセラーや登校支援員の配置数を拡充します。



第1回新幹線基本計画路線全国総決起大会



大分県企業誘致セミナー



第7回脱炭素先行地域選定証授与式

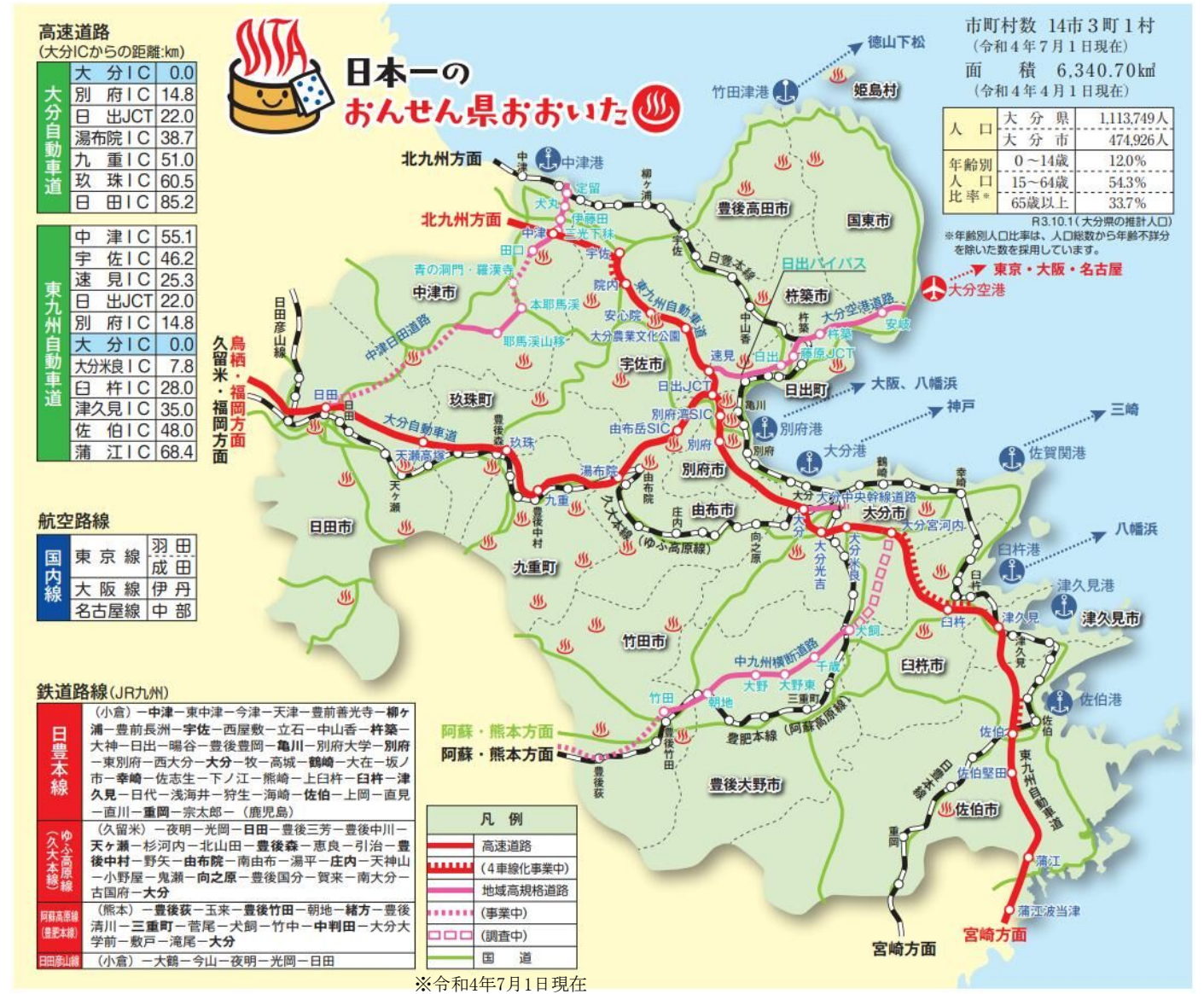


R7.8月デモフライト(大阪・関西万博)



遠隔授業の様子

8. 大分県管内図、県のシンボル



<県木 豊後梅>



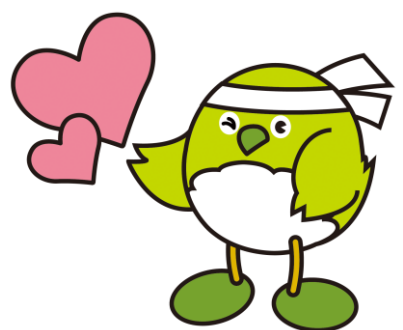
【昭和41年8月16日制定】
豊後梅は、古くから豊後の名産として知られていました。花は大輪で淡紅色をおびています。

<県鳥 メジロ>

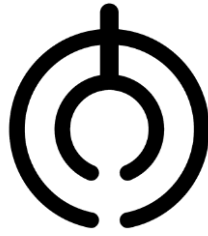


【昭和41年2月1日制定】
メジロは全国的に生息している鳥ですが、大分県のメジロは、色彩が美しく、よく鳴くことから、古くから豊後メジロとして全国的に有名で、県民に愛されています。

<大分県応援団”鳥” めじろん>



【平成16年12月24日誕生】
第63回国民体育大会のマスコットキャラクターとして生まれ、現在も大分県の応援団”鳥”として世界で活躍しています。
身長:乾しいたけ 20.08個分
体重:カボス 200.8個分



大分県



おんせん県おおいた
×
HELLO KITTY

© 2026 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. L665342

大分県企画振興部政策企画課

TEL:097-506-2031

FAX:097-506-1722

〒870-8501

大分県大分市大手町3-1-1

令和8年5月作成